

4月6日(土) 美術鑑賞会

『皇居三の丸尚蔵館』

4月6日に美術鑑賞会が例会として選んだ大手門内の「皇居三の丸尚蔵館」は、上皇陛下と香淳皇后によって国に寄贈された皇室ゆかりの美術工芸品の保存、研究、公開のため、平成5年、宮内庁三の丸尚蔵館として開館し、令和5年より宮内庁から独立行政法人国立文化財機構に移管され現在の名称に変わりました。長い歴史と伝統の中で培われてきた皇室と文化の関わり、その美に触れられる場所が皇居内にできることは、奈良の正倉院とは違う感動に浸れます。ほとんどの作品が撮影可能ですので、スマホで撮って自宅でも楽しめます。令和8年に旧館跡地に第二期棟が完成するのも待たれます。

開館記念展「皇室のみやびー受け継ぐ美ー」第3期:近世の御所を飾った品々では、新たに国宝に指定された平安女流日記文学の代表作である菅原孝標女「更級日記」の藤原定家書写本を、会場の中央でゆるりと見学しました。近くに場所を移しパレスビル B1F のイタリア料理店・セラフィーナ NEW YORK での懇親会となり、Y.H 元代表、M.W さん、S さんとご一緒させて貰い楽しいひと時を過ごさせて頂きました。

(岸照雄記)





美術鑑賞会 第50回例会 三の丸尚蔵館 (2024年4月6日)